

2024年コンテスト

7L2WVR 久保木尊史

今年は例年になく色々なコンテストに参加した。

数えてみると、11のコンテストに出た。

中には交信数が1局もしくは2局だけの援護射撃もあるが、それでも「参加」したことには変わりがない。

昨年は3つのコンテスト（6m and Down、フィールドデー、多摩川）全て援護射撃だったので、今年は自分なりに「ガチ参加が多かった年」だと思う。

1. 関東UHFコンテスト

このコンテストは毎年2月の建国記念日に開催されるので、なかなか出ることが出来ない。会社が自動車部品の製造関係で、自動車業界は祝日は関係なく通常出勤。なので、初めての参加かな？

430MHz FM 85局 71マルチ 得点6035点（43位）

2. ALL JAコンテスト

30代の時からの参加コンテストだが、近年はほとんど出て無かった。今年は2日目はお出かけの用事があったので、1日目の夜のみの参加。

50MHz CW 1局

50MHz SSB 15局 計16局 6マルチ 得点96点（57位）

3. 東京コンテスト

ALL JA の数日後なので、あまり出る機会が無かった。

近年は援護射撃が多いが、今年はカミさんの仕事の送り迎えをぬっての参加。

50MHz CW 1局

50MHz SSB 16局 計17局 15マルチ 得点450点（16位）

4. 6m and Down コンテスト

例年は430MHzで行うことが多かったが、今年は50MHzオンリーで参加。

1日目は0時半まで、2日目はカミさんの仕事の送迎をしながら、一日頑張った。

50MHz CW 6局

50MHz SSB 54局 計60局 14マルチ 得点840点

5. フィールドデー・コンテスト

毎年、自宅からというスタイルだったが、今年は友人（JL1LGX）と二人で移動。

且つ、初めて「移動運用でCWのみの参加」となった。

移動地は、埼玉県飯能市 多峯主山（とうのすやま）山頂。

FT-817ND に、電源（エネルーブ16本）、三脚、基台マウント、6m 1/2λモビホ、パドル、5D2V 同軸5m巻き、VNA、ハンディ機、コップ、バーナー、食料など、かなりの重さになったが、山頂近くまで住宅地が広がっているため、アクセスが非常に楽。15分ほどで登れる。

予定では、CWで援護射撃をし、その後SSBで参加する予定だったが、野外でパドルを打つのが楽しくなり、援護射撃の後そのままCWでやることにした。

1時間ちょっとだけの参加だったが、快適で楽しい移動運用だった。

50MHz CW 5局 5マルチ 得点25点

6. 全市全郡コンテスト

こちらは100%、JM1LZT局の援護射撃。

日曜日の早朝、LZT局と交信して、あとはQRT。

今年は気分的に、Phoneに出る気分では無かったので、援護射撃だけで満足。

CWも全市全郡はコンテストナンバーが長いので、ちょっとパス。

50MHz CW 1局 1マルチ 得点1点

7. オール千葉コンテスト

折りしも240の移動運用 and バーベキューと重なった。

JH1LTR局が参加ということで、JJ1DLU局のIC-9700をお借りしての援護射撃。

また、何度か交信したことのあるYLさんも参加していたので、こちらも。

お借りしたJJ1DLU局のIC-9700、とてもステキ。ありがとうございました。

430MHz FM 2局 2マルチ 得点8点

8. 東京CWコンテスト

こちらも100%、JM1LZT局の援護射撃。

援護射撃の場合は、ほかの局と交信すると他局の援護にもなってしまうので、LZT局だけの交信。

50MHz CW 1局 1マルチ 得点2点

9. 鶴見川コンテスト

今回、初参加にしてJH1LTR局の援護射撃のみの参加。

この日は盛岡より義姉が来ており、家族で遊びに出かける予定があったので、多峯主山にハイキングを企画し、そのついでにLTR局の援護射撃をする計画。

なのでリグはDJ-G7と附属ホイップアンテナのみ。

登山口近くの日高市横手台グラウンドの駐車場に駐車する。ここの駐車場は広くて登山者駐車OKなので、安心して山に行くことが出来る。ただし、夕方5時には施錠するので、帰宅時には注意。

住宅地の坂を登り、登山口から山に入ると約15分で山頂。

飯能駅側からは、どのコースも5キロあるそうなので、担ぎ上げなら絶対ここだ。

登山口からすぐに階段状の急勾配、ここが一番キツイが、それを過ぎると楽ちん。

最後、頂上直下のちょっと急な岩場があるが、巻き道もあるので大丈夫。

頂上にはテーブル席が2つとベンチが少し。テーブル席でお湯を沸かしながらLTR局と交信。

430MHz FM 1局 1マルチ 得点1点



多峯主山での交信の様子。

視界は360度。

西は奥多摩の山々から富士山。

南は丹沢山塊から立川の駅ビルや西武ドームなどが広がる。

東は飯能市街から都心のビル群、スカイツリー、東京一円が見渡せる。

北は目線以上に奥武蔵グリーンラインの山並みが続く。

10. 多摩川コンテスト

久しぶりのガチ参加。 昨年は援護射撃のみだったが今年はフル参加した。

コンテスト前、各地にちらばるコンテスターの方々との交信では、前半はCWで得点を稼ぎ、後半にSSBで取りこぼしを無くすという戦略だそう。

僕はCWが多いと疲れるので、LZT局とLTR局の援護射撃+αでCW、あとはSSBでいくことに決めた。

規約に出力制限事項が無いので、今年は100Wで参戦。

ワッチすると今年はCWのスピードが他のコンテストと比べて速い。

やはり2時間のスプリントコンテストだからだな。

とりあえず、LTR局とLZT局の信号を探しQSO。 あと1局とやってSSBへQSY。

50MHz CW 3局

50MHz SSB 49局 計52局 17マルチ 得点1819点

11. 東京UHFコンテスト

僕の今年最後の参加コンテスト。

今年は晴れば移動で1200MHzのFMオンリー。雨なら自宅から430MHz。

で、晴れた！

しかし、このところ連日、仕事が忙しくお疲れモード。

電池の充電くらいしか事前準備が出来なくて、当日の朝からの準備。

当然間に合うはずも無く、出発したのは9時半過ぎ。途中昼食を買い込んだので、現地（西多摩霊園）着は10時過ぎ。そこからセットアップだ。

今回はハンディ機のDJ-G7に附属ホイップアンテナでの参戦。

1200MHz用のモビホや小型八木は持っているが、今回は附属ホイップで手持ちの運用にこだわった。

北風が強く寒かったがハンディ機片手にで立ちっぱなしの運用、2時間で30局。疲れたので健康を優先し、ここでQRTして今年のコンテスト終了とした。

1200MHz FM 30局 18マルチ 得点846点

今年、コンテストを振り返って、自分なりに頑張ったと思う。

もちろん、局数も他の局とは全然比較にならないくらい少ないと思う。だから

「これで頑張ったの？」と言われるかも知れないが、自分としては頑張ったと言える。

元々、ノイズすれすれの局をとるのは非常に疲れるので苦手だ。

人によっては、ノイズに埋もれかけた、すれすれの局を取るのが好きという人もいる。

僕はそういうタイプでは無いので、ノイズすれすれの局が何局か続くと脳が非常に疲れて、精神的にもつらい。

なので本来は、「CQを出したくない性格」だが、コンテストにガチ参戦となると、呼び回りだけでは頭打ちなので、CQを出さざるを得ない。

そういう訳で今年一年、頑張ってCQを出した。自分にご褒美をあげたいと思う。

でもコンテストでCQを出す楽しさもわかるので、これからも無理しない程度に、楽しくコンテストが出来たらと思っている。

また、

コンテストに参加して1局でも交信したら、必ずログを提出することになっている。

ログを提出しないと、自分のコールサインは「ユニークコール」となってしまい、交信相手局はマッチングがとれなくなってしまう。

だから交信した相手局にからなず点数が入るように、また自分のためにも、交信データは終了後すぐJARL形式のサマリーログにして、コンテスト事務局にメールで送る。

そのために非常に便利なのが、CTEST WIN だ。
すぐに交信データをサマリーログに変換することが出来るので、後処理が非常に楽。
今年最後の東京 UHF コンテストは紙ログでの参加だったが、帰宅後すぐにログを
CTEST WIN に入力し、サマリーログを作成して提出した。

また、CTEST WIN は時刻も自動入力なので、時間の記録を気にしないで交信が出来る点
も良い。相手局のコールサインと、コンテストナンバーの「59(599)」より後ろだけを入力
してエンターを押すのみだ。
リグとリンクさせておけば、周波数やモードだけでなく、交信した詳細な周波数も記録
されるので、コンテスト中も使い勝手が良い。
CTEST WIN のおかげで、コンテストに対する面倒くさい気持ちが無くなった、と、
言っても言い過ぎでは無い。そのくらい助かっている。

来年はどんなコンテストに参戦出来るか、これも楽しみで、地方のローカルコンテスト
にも目を向けてみようかな、、、なんて思ったりして。

今年一年、各局、本当にありがとうございました。
来年も宜しく願います。

7L2WVR